



TITLE:

京大広報 No. 80

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 80. 京大広報 1973, 80: 333-334

ISSUE DATE:

1973-02-16

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209612>

RIGHT:

京大広報

No. 80

京都大学広報委員会

2月8日の掲示について

2月8日、総長は最近の学内の事態にかんがみ次のような掲示を出した。

(掲示第1号)

およそ大学においては、面会の強要、集団による拘束など、自己の主張を押し通そうとして乱暴な行為に出ることは許さるべきものではない。しかるに、最近竹本助手処分問題をめぐって、一部学生が評議員を不当に長時間拘束して意志表示を強要し、あるいは封鎖占拠を強行するなど、極めて憂慮すべき事態が頻発している。

評議会は、いかなる問題であれ公正かつ慎重な審議を尽くすべきは当然であって、これをさまたげる結果となる上述のごとき行為は、大学の存立をも問われる重大な危機を招く恐れがある。厳に諸君の反省と自戒を求める。

昭和48年2月8日

京都大学総長 前田敏男

農学部富士岡義一教授の急逝について

農学部富士岡義一教授は、1月11日午後9時30分脳溢血のため急逝された。享年53才。富士岡教授はかんがい排水学講座担任で、農学博士、36年教授、その間御専門の研究・教育の外、農業土木学会理事として活躍されると共に国や地方公共団体の農業基盤整備に関する諸委員会委員等をつとめられていた。

なお、富士岡教授の農学部主催追悼式は、1月



20日(土)午後1時30分から3時30分まで、京都
会館会議場で行なわれた。

月曜会メモ

第111回(2.5) 司会 佐藤 惺会員

1 会員の交替
なし

2 部局報告

文学部、理学部、薬学部、教養部、化学研究所、人文科学研究所および木材研究所より、それぞれ最近の状況について報告があった。

3 話題

主題は、前回に引き続き「大学院に関する諸問題について」の予定であったが、最近の学内の学生の動向から、京大広報No. 79に登載された「分限処分の審査について」の問題に話題が集中し、この問題の経過については、広報に掲載された事柄のみしか知り得ていないという前提ではあったが、活発な意見の交換が行なわれた。

また、川村会員より、大検委第3部会の答申案がちかぢか総会で検討されるむね報告があった。

次回は、入試の都合により、3月12日（第2月

曜）に変更し、前回の「大学院に関する諸問題について」をテーマとして開催される予定である。

（貴島恒夫会員）